

磐田のびやか保育園 自己評価

達成度判定は、A(100%-80%)、B(80%-60%)、C(60%未満)

	2025年度		2024年度		2023年度	
	現在の取組及び状況	今後の改善計画・目標	現在の取組及び状況	今後の改善計画・目標	現在の取組及び状況	今後の改善計画・目標
保育内容						
体系的な計画の作成	1 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて体系的な計画を作成している。	理念や方針に基づき、見直しをしながら全体の年間指導計画、歳児別指導計画、月・週案、個人票の作成をしている。	体系的な計画は理念や方針に基づき子どもの環境や発達と照らし合わせながら年間指導計画、月・週案、個人票の作成をしている。	園の特色や子どもの実態を踏まえて、全職員で評価・見直し・共通理解をし、体系的な計画を作成していく。	体系的な計画は、保育の方針や目標に基づいて作成している。	A 子どもの状況や発達を踏まえて、全職員で評価・見直し・共通理解し、保育の質の向上を図っていく。
環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	1 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	子どもが安心・安全に過ごせるよう点検や清掃・消毒を行っている(チェックリストに記名)。ヒヤリハットを全職員で共通理解しケガ・事故防止に努めている。(年次末に場内や時間などを集計し、対策を話し合う時間をもつ)	ヒヤリハットを全職員で共通理解するとともに、方策を話し合い、改善に努めている。	子どもを動機を考えた配置、保育の工夫を行っている。毎日の清掃・消毒・点検を丁寧に、室温・湿度の確認をしている。ヒヤリハットをあげ、改善策を話し合うなど、事故防止に努めている。	ヒヤリハットを全職員で共通理解し、改善策を話し合うことで、事故防止に努めている。	B 年齢にあった環境づくり、安全への配慮を心がける。子どもの姿を予想し、気づくことで事故防止に努めている。
2 一人ひとりの子どもを愛護し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	子どもの状態や発達に寄り添った保育を心掛ける。よったした変化にも気づけるよう全職員で共通理解して振振している。	A 子どものありのままの姿を受け止め、寄り添いながら一人ひとりに合った関わり方を全職員でしていく。また、保護者とも連携を図っていく。	子どものありのままの姿を受け止め、寄り添いながら一人ひとりに合った関わり方を全職員でしていく。また、保護者とも連携を図っていく。	A 全職員が子どもの育ちを理解し、愛情かけがえいながら、安定した気持ちで過ごせるようにする。	A 全職員が子どもの育ちを理解し、愛情かけがえいながら、安定した気持ちで過ごせるようにする。	
3 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境を整備、援助を行っている。	一人ひとりのペースに合わせて丁寧に、かつ、主体的に、安心して挑戦できるようにしている。手の届く所に絵本、おもちゃを置いている。	A 子どもたちが主体的にできるような環境の工夫、丁寧に促すような関わり方を大切にしている。手の届く所に絵本、おもちゃを置いている。	一人ひとりの発達や環境に合わせた適切な援助を行い、自らやろうとする気持ち大切にしている。	A 子どもが主体的にできるような環境の工夫を行う。自らやろうとする気持ち大切にしている。	A 子どもが主体的にできるような環境の工夫、やろうとする姿を認める言葉かけをし、自信へとつなげていく。	
4 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもが生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	一年を通して、経験させたいことを職員で話し合い、その時期ならではの遊びを取り入れられるよう工夫している。地域の公園を活かして、散歩に出かけるようにしている。	A 年齢保育の良さを生かしながら、年齢ごとの主体的な活動が広がる保育の内容を取り入れられるよう工夫している。子どもの実態に合った遊びの環境を整備していく。二部製ある保育室を活かしていく。	一年を通して、経験させたいことを職員で話し合い、その時期ならではの遊びを取り入れられるよう工夫している。地域の公園を活かして、散歩に出かけるようにしている。	B 年齢保育の良さを生かしながら、年齢ごとの主体的な活動が広がる保育の内容を取り入れられるよう工夫していく。二部製ある保育室を活かしていく。	B 年齢保育の良さを生かしながら、年齢ごとの主体的な活動が広がる保育の内容を取り入れられるよう工夫していく。	
5 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	家庭との連携を密にし、一人ひとりの環境や生活リズムに沿って保育ができるようにしている。保育士と愛着関係を築き、共感的コミュニケーションを取り、安心して探索活動が出来るように配慮する。	A 愛着関係を基盤に安心して落ち着いて過ごせる環境を工夫していく。個々の生活リズムを把握し、家庭と園とで無難のない生活リズムを作っていく。	家庭との連携を密にし、一人ひとりの環境や生活リズムに沿って保育ができるようにしている。保育士と愛着関係を築き、共感的コミュニケーションを取り、安心して探索活動が出来るように配慮する。	A 愛着関係を基盤に安心して過ごせるようにしている。個々の生活リズムを把握し、家庭と園とで無難のない生活リズムを作っていく。	A 個々の生活リズムを把握し、全職員で共通理解のもと、安心して過ごせる環境づくりを行っている。	
6 3歳未満児(1・2歳児)の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	保育士との信頼関係のもとで自発的に活動したり支えたりとの関わりを通して、子どもが興味関心を引き出す環境を工夫していく。喜びを大切にしながら基本的な生活習慣の習得ができるよう個別に配慮していく。	A 年齢間で過ごす時間を作り、やりたい遊びがじっくりできる環境づくりをする。子どもの興味関心を引き出す環境を工夫していく。喜びを大切にしながら基本的な生活習慣の習得ができるよう個別に配慮していく。	保育士との信頼関係のもとで自発的に活動したり支えたりとの関わりを通して、子どもが興味関心を引き出す環境を工夫していく。喜びを大切にしながら基本的な生活習慣の習得ができるよう個別に配慮していく。	A 年齢間で過ごす時間を作り、やりたい遊びがじっくりできる環境づくりをする。子どもの興味関心を引き出す環境を工夫していく。喜びを大切にしながら基本的な生活習慣の習得ができるよう個別に配慮していく。	B やりたい遊びがじっくりできる環境づくりをする。喜びを大切にしながら基本的な生活習慣の習得ができるよう個別に配慮していく。	
7 障害のある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	子ども一人一人の心身の発達や興味・関心把握した上で、個別の援助方法を考えながら保育を行っている。	A その子にあった関わり方、環境を整備をしていく。全職員で共通理解をいく。	子ども一人一人の心身の発達や興味・関心把握した上で、個別の援助方法を考えながら保育を行っている。	A その子にあった関わり方、環境を整備をしていく。	A 保護者や担当医と連絡を取り合い、全職員で共通理解し、その子どもにあった保育をしていく。	
8 それぞれの子どもが在園時を過ごした環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	子どもの状況を把握した上で、利用時間の長い子には1対1の関わりを大切に。安心感を持たせている。	A 利用時間の長い子には1対1の関わりを大切に。安心感を持たせている。	子どもの状況を把握した上で、利用時間の長い子には1対1の関わりを大切に。安心感を持たせている。	A 子どもの状況を把握した上で、利用時間の長い子には1対1の関わりを大切に。安心感を持たせている。	A 子どもの状況を把握した上で、利用時間の長い子には1対1の関わりを大切に。安心感を持たせている。	
健康管理						
1 子どもの健康管理を適切に行っている。	朝の受け入れ時の保護者からの体調の聞き取りを丁寧に行い、全職員で共有し、体調の変化にいち早く気づけるよう努めている。	A 引き続き、朝の受け入れ時の保護者からの体調の聞き取りを丁寧に行い、全職員で共有し、体調の変化にいち早く気づけるよう努めている。	朝の受け入れ時の保護者からの体調の聞き取りを丁寧に行い、全職員で共有し、体調の変化にいち早く気づけるよう努めている。	A 引き続き、朝の受け入れ時の保護者からの体調の聞き取りを丁寧に行い、全職員で共有し、体調の変化にいち早く気づけるよう努めている。	A 保護者との連携を密にし、体調の変化が起きた場合の対応を丁寧に行い、室内環境を清潔に保つよう努める。	
2 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	年二回の検診を行い実態把握をしている。結果は保護者に伝えている。	A 医師からの指摘やアドバイスを保護者にも丁寧に伝え、異常があった子のその後の様子や再受診の様子を伝え、子どもたちが健康に過ごせるようにする。	年二回の検診を行い実態把握をしている。結果は保護者に伝えている。	A 医師からの指摘やアドバイスを保護者にも丁寧に伝え、異常があった子のその後の様子や再受診の様子を伝え、子どもたちが健康に過ごせるようにする。	A 医師からの指摘やアドバイスを保護者にも丁寧に伝え、異常があった子のその後の様子や再受診の様子を伝え、子どもたちが健康に過ごせるようにする。	
3 アレルギー疾患、慢性疾患等の子どもに対して、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	アレルギー疾患のある子どもに対しては、医師からの指示を受け、保護者面談をした上で、アレルギー対応マニュアルに沿って適切に対応している。	A 全職員で共通理解し、適切な対応・配慮に努めている。	アレルギー疾患のある子どもに対しては、医師からの指示を受け、保護者面談をした上で、アレルギー対応マニュアルに沿って適切に対応している。	A 全職員で共通理解し、適切な対応・配慮に努めている。	A 全職員で共通理解し、適切な対応・配慮に努めている。	
食事						
1 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	自分たちで野菜を育てたり、クッキング等を通して、食事に對して興味関心が持てるようにしている。個々に応じた量・形態を提供し、無理のない進め方をしている。	A 引き続き、クッキングや行事食を楽しみながら、ゆっくと落ち着いて食事ができるような雰囲気作りをしている。	自分たちで野菜を育てたり、クッキング等を通して、食事に對して興味関心が持てるようにしている。個々に応じた量・形態を提供し、無理のない進め方をしている。	A 引き続き、クッキングや行事食を楽しみながら、ゆっくと落ち着いて食事ができるような雰囲気作りをしている。	A クッキングや行事食を楽しみながら、ゆっくと落ち着いて食事ができるような雰囲気作りをしていく。	
2 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	調理師と保育士、保護者と連携し、一人ひとりの発達に応じて量や形態を工夫している。行事食や誕生日特別メニューを取り入れている。	A 調理師と保育士、保護者と連携し、一人ひとりの発達に応じて量や形態を工夫している。行事食や誕生日特別メニューを取り入れている。	調理師と保育士、保護者と連携し、一人ひとりの発達に応じて量や形態を工夫している。行事食や誕生日特別メニューを取り入れている。	A 調理師と保育士、保護者と連携し、一人ひとりの発達に応じて量や形態を工夫している。行事食や誕生日特別メニューを取り入れている。	A 食事を子どもたちが楽しく食べることのできる工夫と同時に、衛生管理も徹底し、アレルギー対応を正しく行っていく。	
子育て支援						
家庭との緊密な連携						
1 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	園だより、登壇簿、連絡帳で保護者と子どもの様子を伝えあっている。参観会を行っている。	A 保護者と子どもの成長を共有できるように、引き続き連携を密にしている。参観会を行っている。	園だより、登壇簿、連絡帳で保護者と子どもの様子を伝えあっている。	A 保護者と子どもの成長を共有できるように、引き続き連携を密にしている。	A 保護者との成長を共有できるように、引き続き連携を密にしている。	
保護者等の支援						
1 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	保護者との信頼関係を大事にし、いつでも、どんな内容でも相談しやすい雰囲気づくりをしていく。	A 今後も一人ひとりの保護者に応じた支援や相談対応ができるようにしていく。	保護者との信頼関係を大事にし、いつでも、どんな内容でも相談しやすい雰囲気づくりをしていく。	A 今後も一人ひとりの保護者に応じた支援や相談対応ができるようにしていく。	A 保護者との信頼関係を大事にし、いつでも、どんな内容でも相談しやすい雰囲気づくりをしていく。	
2 家庭での虐待や虐待被害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	一人ひとりの子どもの状況や家庭環境を把握している。虐待対応マニュアルに沿って適切に対応を行っている。	A 虐待防止マニュアルの共通理解を図っていく。子どもの体に異常がないか検診をしたり、不安感や表情など心構えや行動にも注意していく。	一人ひとりの子どもの状況や家庭環境を把握している。虐待対応マニュアルに沿って適切に対応を行っている。	A 虐待防止マニュアルの共通理解を図っていく。子どもの体に異常がないか検診をしたり、不安感や表情など心構えや行動にも注意していく。	A 子どもの変化に気づけるように、毎日の検診を丁寧に行い、全職員で早期発見・対応・予防について周知していく。	
保育の質の向上						
1 保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	A 園内研修や会議などで上がった改善点などを実行していく。	保育士等が主体的に保育実践の振り返り(自己評価)を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	A 園内研修や会議などで上がった改善点などを実行していく。	B 全職員での園内研修と個別の自己評価の両方を実施を行い、育ちの共有と保育の質の向上に努めている。	